

Ⅱ ホーム・ルームにおける自治活動

① 中学の場合 —— ショートタイムを中心として

三 谷 み ち ち

はじめに

本校のS・Tには他校とは異なった事情がある。多くの学校では朝の始業前か、午後の授業後に行なわれるのが普通であるが、本校では昼の放課の後、つまり午後の授業の前に10分間行なわれる。このため、朝礼があって昼の放課が短くなる月曜日と、午後授業がない土曜日にはS・Tはない。1週間のうち4日しかS・Tがないのである。その上、教官には研究日(自宅研修日)が週1日あるので、担任が実際にS・Tに出席できるのは週3日ということになる。又、木曜日の昼には会議があり、それが長びいてついS・Tに出られないこともある。このような本校の特殊事情の影響も大きく、S・Tの運営はなかなかうまくいかない実情である。

1. 本年度のS・Tの方針

このような困難な現状をなんとか打開して、少しでも有意義なS・Tにしたいと私の担任する中3Bでは本年次のような方法を試みた。

火——生徒会及び各委員会の連絡・協議

L・Tの予定報告・協議

水——ショートスピーチ(どんな内容でもよいから皆に話したいと思ったことを用意してくる)

木——クラスの問題点(改善したいこと、今困っていることなど)

金——ニュース(最近のニュースで心に残ったものを選んで紹介し、それについての自分の考えなどを話す)

あらかじめ計画を立てておき、その予定に従って生徒の力で自主的に運営できるようにした。火木は室長が司会することにし、水金はそれぞれ当番を割り当て、前もって用意しておくことができるようにした。

2. 実践の記録(9月4日～10月23日まで)

9/4 金 本日のニュース(進学について)

9/8 火 文化祭について協議

9/9 水 ショートスピーチ(万国博の歴史)

9/10 木 文化祭クラス発表の劇についての説明

9/11 金 劇について協議

9/16 水 ショートスピーチ(偉人のことば)

9/17 木 生徒会機関誌について協議・朝の生徒集会について協議

9/18 金 HR代表からの生徒会報告

9/22 火 LTの計画について協議

9/24 木 クラスの問題点(席換えについて、月曜から変わるよう決定)

9/25 金 体育大会出場選手決定

9/29 火 弁論大会の是非について協議

9/30 水 バザー委員選出、文化祭練習割り当てについての連絡

10/1 木 クラスの問題点(STに遅れてくる人が多い)

10/2 金 本日のニュース(伊勢湾の赤潮と死んだ魚)

10/6 火 弁論大会出場者決定

10/7 水 体育大会の入場行進についての打ち合わせ

10/8 木 体育大会準備(体育大会・文化祭)

10/15 木 教生の先生紹介

10/16 金 平和の鐘運動についての呼びかけ(クラス有志)

10/20 火 クラスの問題点(こわれたままのブラインド)

10/21 水 ショートスピーチ(国鉄の線路こぼれ話)

10/22 木 L・Tの予定報告、生活委員より靴の色の制限緩和について提案、協議

10/23 金 本日のニュース(佐藤首相の国連での話)

行事などがあって、連絡事項が多い場合は融通性をもたせ、適宜変更したので二学期は計画通りでない場合が多かった。ショートスピーチは当番のため仕方なく捜してきたような話が多く、生徒の生活体験から得た話は全く見られなかった。ニュースでは公害問題、進学の問題と、かなり身近なものをとりあげて話題にしていたが、自分が当面している問題というより、どこか遠いところで起きていることのようなとらえ方がなかった。10分という限られた時間のせいもあるが、

当番になった生徒が提起した問題について皆で一緒に考えるようなことが全然見られないのが残念である。

クラスの問題点では、日ごろ不平不満をよく耳にしていたので、この機会を利用してさまざまな問題が出ることを期待したが、いざとなると友達をかばってしまうのか、余り問題は出なかった。困っていることを皆で話し合っ解決していくという態度がもっと育ってほしいものである。S・Tでの話し合いを活発にすることが生徒会の自治活動の活発化につながるようにしたいのだが、話し合うことを無意味だと考えている生徒が多く、なかなかむずかしいことである。

3. アンケートについて

生徒がこのようなS・Tについてどう考えているかを知るため、次のようなアンケートを実施した。

A) 今年のショートタイムはあらかじめ計画を立てて行なって来ましたが、去年の場合と比較してどうですか。

やや どちらと やや
 良い 良い もいえない 悪い 悪い
 1 2 3 4 5

B) その理由は何ですか。

C) ショートタイムをもっと充実したものにするにはどうしたらよいと思いますか。

S. 45.10.29実施 対象 3年B組 男子24名 女子20名

A)

	1	2	3	4	5
男子	1	13	6	4	0
女子	2	10	5	3	0
計	3	23	11	7	0

B) <1 良い>としたものの理由

- ・新聞を注意して読むようになった。
- ・割り当ててきちんとやったので無駄がなかった。
- ・生徒中心にできる。

<2 やや良い>としたものの理由

- ・個性がわかっておもしろい。
- ・集合が去年より良い。
- ・知識もふえるし社会のでき事もわかる。
- ・ニュース、ショートスピーチなどの趣向がよい。
- ・人前で話す機会を得てだんだん自信がついた。
- ・生徒だけでもできる。
- ・先生がいなくなかなか始まらない。
- ・新鮮味が欠ける。
- ・計画以外の日はできない。
- ・まじめに聞いていない。
- ・当番が忘れてくる。

- ・強制的な感じで自主性がない。
- ・計画があると、それさえすませればという考えで儀式化してしまい、意欲や積極性がなくなる。

<3 どちらともいえない>としたものの理由

- ・聞いている人は無関心
- ・内容がパッとしない
- ・集合が悪い
- ・計画だけで実行できない
- ・S・Tの意義がわからない。
- ・毎日やるのが決まっているので司会者が迷わないですぐ始められるが、用意してくる人がきちんとやっていないし、みんなもよく聞いていない形式的になり始めている。
- ・みんながやる気がないので計画があってもなくても同じこと。
- ・クラス全員の非協力
- ・興味の持てる内容がない。

<4 やや悪い>としたものの理由

- ・集合が悪い
- ・準備不足
- ・内容に乏しい
- ・騒がしい
- ・意見が全然ない
- ・先生が時間にきちっと来ない。
- ・みんなのやる気がない。
- ・計画があるのでやりたいことがあってもできない。
- ・強制的にさせられる感じで重苦しく感じる。

C) S・Tを充実させるには……

- ・内容を変えず、同じことを一ヶ月くらい続ける。他の人の話と比較できる。
- ・室長がもっとしっかりする。
- ・強制的でなく自由にする。
- ・自分からやる気のある人がやる、というような積極的な日を設ける。
- ・集合を良くする。遅れて来たものを罰する。
- ・具体的な課題にする。
- ・自分の趣味をくわしく発表する。
- ・リレーショ的なものを取り入れる。もっと楽しいものに(例、落語などかくし芸)
- ・みんなの協力、やる気
- ・当番の人はもっとまじめにやる。
- ・個人の特技、才能を見せる日を設ける。
- ・変化に富んだ計画にする(昨日のテレビ、ラジオの感想など)
- ・時間が余らないようにする。
- ・本の紹介をしてあとでみんなの感想を聞く。

- ・一ヶ月に一度くらいは計画に変更を
- ・クラスが団結できるもの（例、合唱など）をやる。
- ・当番が司会者となって好きなように運営する。
- ・クラスの問題点はやめた方が良い。
- ・10分間読書をする。（代表が音読）
- ・計画を全員がじっくりと立てる。
- ・クラスの問題点はそのまま続けた方が良い。
- ・10分を15分にする。
- ・S・Tを朝の授業前にする。
- ・みんなの喜ぶ内容にする。
- ・計画に融通性をもたせる。
- ・班で一週間担当して内容はまかせる。
- ・司会者がもっとねばり強く意見を求める。時には指名も
- ・委員会の報告やL・Tを補う程度のS・Tでよい。
- ・計画を立てず、希望者に自由にやってもらおう。

多くの者が少なくとも去年よりはよくなったことを認めている。しかしどうにも「やる気」が出てこないようである。なぜ無気力無関心になるのだろうか。「S・Tを充実させるにはどうしたらよいか」に対し「もっと楽しい内容に」と望む意見が目につく。まじめに時間をかけて討論をくりかえすことがめんどろになってしまったのか、話し合っても何にもならないというあきらめなのか、あるいは重苦しい授業時間に疲れ、せめてHRの時間くらい楽しく過ごしたいと思っているのかもしれない。

計画を立てて実施していることについての否定的意

見として「強制的な感じで自主性があるとはいえない、」ことと「形式化している」ことがあげられる。新年度を迎えてまだクラスの話し合いが充分できていないうちにこちらの計画を一方的に押しつけてしまったので、この点では大いに反省している。しかし生徒の力で自主的に計画的に運営して行く意欲があるようにも見えない。「やる気のある者がやる」など、「自分のクラスだ」という自覚があるのか疑わしくなるほどの他人まかせの意見があることにもよく表われていると思う。生徒の力で本当にしっかりやってくれるだろうかという不安がどうにもぬぐい去れないのである。計画があるためにかえって形式化してしまっている面はこれから少しずつ改善して行かなければならないと痛感している。計画を固定しないである程度自由にして行ったら少しはよくなるのではないだろうか。

学校側の問題として週4日であることや、会議がとってきたS・Tの時間になっても続けられる等、ややS・Tを軽視していると思われなくもない面がある。生徒の自治活動を育てて行くには毎日のこういう時間の積み重ねが非常に大切である。たださえ、生徒の間での話し合いの時間は少ないのであるから、S・Tの時間を連絡の場だけにしないで、討論、話し合いの場にしたいものである。このためにはS・Tの時間を授業後にして、もし話し合いが活発に行なわれるような場合、少々の延長が可能であるようにしておくといのではないかと考える。授業後ならば月～土まで毎日S・Tを行なうこともできる。一日のうち一度はクラス全体で話し合う。こういうことの重要さをぜひ身につけてほしいと思う。